

2026 年 9 月 24 日発行

Contents

- 1) 学会からのお知らせ
- 2) 外部連携団体からのお知らせ
- 3) 健康心理学コラム vol. 165 「クライアントの感情とその変容過程：役割交換書簡法の視点から」佐瀬 竜一（和洋女子大学）

1) 学会からのお知らせ

■日本健康心理学会第39回大会（11/21 [土]・22 [日]）事務局からのお知らせ

まだまだ先かと思っていた11月の開催が、いよいよ現実として見えてまいりました。旧交新縁、健康を科学する研究者が旧友と語り、新たな出会いを拓く充実の2日間を目指し、準備委員会一同、鋭意準備を進めております。ぜひ、深秋・初冬の落ち着いた関西で開かれる本大会にご参加ください。皆様のお越しを心よりお待ちしております。

○大会トピックス・ご案内

□プログラム&タイムテーブル：まもなく公式ホームページにて公開いたします。

□大会事務局によるシンポジウム

1. 産学連携シンポジウム：『経営戦略としての『すこやかな毎日、ゆたかな人生』の追求』

栗木 隆 氏（江崎グリコ株式会社 取締役 研究フェロー／博士（工学））

2. 学術団体連携シンポジウム：「ダンスと心の健康 - 新たな視点を求めて」

水村（久埜）真由美 氏（日本ダンス医科学会 代表理事）ほか

□参加受付・懇親会のお申し込み

大会ホームページ内「らくらくカンファレンス」欄よりお申し込みいただけます。

申込ページ： <https://healthpsychology2026.com/registration.html>

□大会情報・お問い合わせ

大会ホームページ： <https://healthpsychology2026.com/>

お問い合わせ先： health2026@kun.ohs.ac.jp

■「公認心理師の国家的活用の在り方～職域の拡大と技量向上の責務～（日本学術会議報告）」（事務局より）

公認心理師養成大学教員連絡協議会から、日本学術会議による「公認心理師の国家的活用の在り方～職域の拡大と技量向上の責務～」の案内がありました。

<https://www.scj.go.jp/ja/info/kohyo/pdf2/kohyo-26-h260828.pdf>

■「令和8年熊本地震の発生に伴う医療関係職種等の国家試験の受験資格並びに学校、養成所及び養成施設の運営等に係る取扱いについて」（事務局より）

公認心理師養成大学教員連絡協議会から、文部科学省および厚生労働省より発出された「令和8年熊本地震の発生に伴う医療関係職種等の国家試験の受験資格並びに学校、養成所及び養成施設の運営等に係る取扱いについて」の案内がありました。

https://www.mext.go.jp/content/20260828-ope_dev03-000051305_4.pdf

■ヨーロッパ健康心理学会 Practical Health Psychology blog（PHPB、実践健康心理学ブログ）の9月記事のお知らせ（国際委員会より）

"The Integrative Model of Adjustment to Continuous Challenges (IMACC): understanding and supporting biopsychosocial adjustment"の日本語記事「持続する困難への適応に関する統合モデル(IMACC)：生物心理社会的な適応を理解し、支援する」が掲載されました。

<https://practicalhealthpsychology.com/ja/2026/07/the-integrative-model-of-adjustment-to-continuous-challenges-imacc-understanding-and-supporting-biopsychosocial-adjustment/>

※アクセスの際には、URL 全てをコピーしアドレスバーへペーストのうえご高覧ください。

※ブラウザによっては開けない場合があります。その際にはお手数ですが、別のブラウザにてお試しください。

■ヘルス・サイコジスト100号の発行（広報委員会より）

ヘルス・サイコジスト100号が学会HPに掲載されています。下記URLよりアクセスしていただき、併せてご高覧ください。

https://kenkoshinri.jp/health/pdf/2607_100.pdf

2) 外部連携団体からのお知らせ

■禁煙支援・治療の指導者養成サイト J-STOP ネクスト事業のご案内（健康日本21推進全国連絡協議会より）

日本禁煙推進医師歯科医師連盟が開発した禁煙治療・支援の推進に關する無料のeラーニングプログラムについて情報提供がありました。

<https://note.com/kenkounippon21/n/nf1b4738d2937>

3) 健康心理学コラム Vol. 165

「クライアントの感情とその変容過程：役割交換書簡法の視点から」
佐瀬 竜一（和洋女子大学）

心身の自己調整法の一つである自律訓練法（Autogenic Training）や一人二役での手紙のやりとり（紙面上のロールプレイ）を行うロールレタリング（役割交換書簡法：Role Reversal Letter-writing：以下RRLW）の実践や研究に取り組んでいます。

心身の健康をサポートする対人支援ではクライアントの感情とその変容過程に注目することが重要であることを踏まえて、先行研究の知見を整理しました。そして、『1) 安全な場の中で本人にとって重要な感情に目を向ける「書く相手について考えて決定する段階」、2) ネガティブ感情を十分に味わいながら書くことで馴化が生じてネガティブ感情が低減していく「決めた相手への返信を書く段階」、3) 自分の視点と相手の視点という複数の視点を獲得することによって認知的再体制化が生じてポジティブ感情とネガティブ感情のバランスが回復して自己への共感が生じる「読み返して返信を書く段階』という「RRLW」によるクライアントの感情変容プロセス仮説」を提示しました（佐瀬、2023）。

しかし、クライアントの感情変容は自動的に生じるわけではなく、支援者の存在や工夫、配慮が重要な役割を果たしている可能性が高いと考えられます。今後は支援者やその成長についてより詳細に追求していくことができると考えております。

引用文献

佐瀬竜一（2023）. 役割交換書簡法における感情変容プロセスに関する理論的検討 役割交換書簡法・ロールレタリング研究, 6, 9-21.

メールマガジンの配信停止、アドレス変更は下記アドレスまで
日本健康心理学会事務局 < jahp@pac.ne.jp >
メールマガジンへのご意見・ご感想は下記アドレスまで
広報委員会 < jahp@pac.ne.jp >
過去のメールマガジンは、こちらからご覧いただけます
<https://kenkoshinri.jp/health/health1.html#mailmaglist>